

医師確保対策の推進について

【 総務省・文部科学省・厚生労働省 】

提案・要望の内容

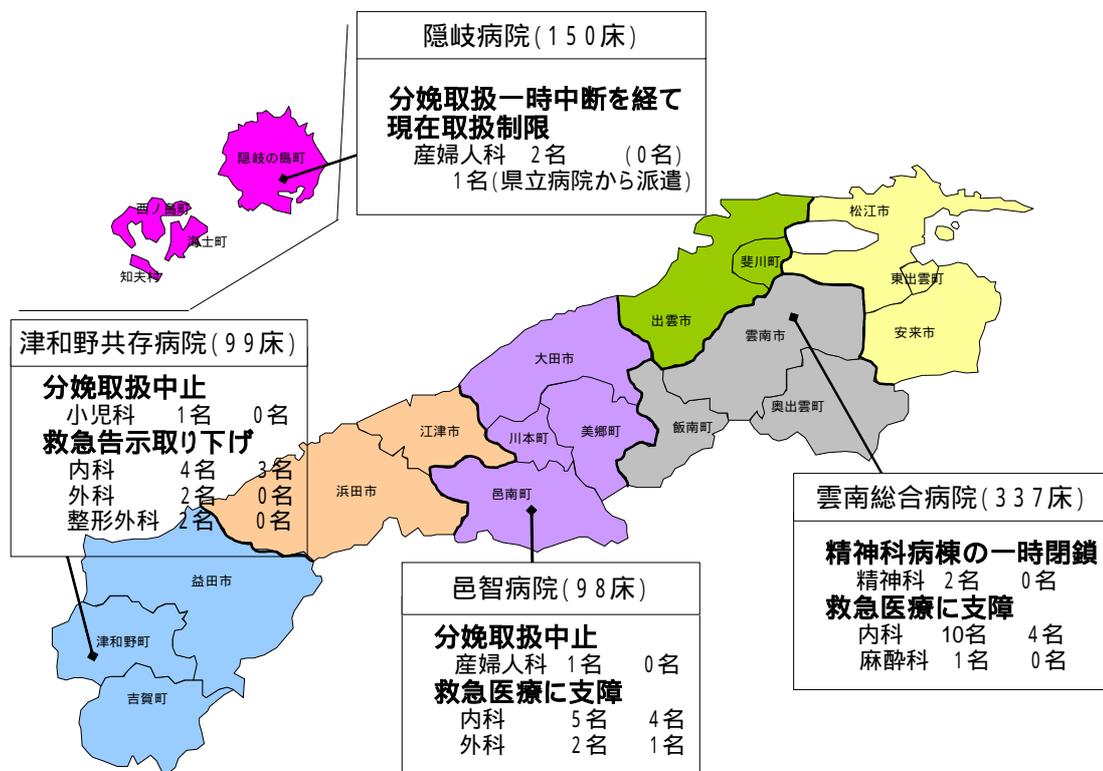
- 1 離島・中山間地域における病院勤務医の確保について、労働環境の整備につながる診療報酬の見直しや、地域での勤務にインセンティブを与える仕組みづくりなど、更なる実効性のある対策を講ずること。
- 2 緊急医師確保対策（H19.5.31 決定）を、地域の実情を踏まえ速やかに実行すること。特に、医師養成数の緊急臨時的な増加については、具体的な方策を早期に明らかにし、必要な財源を国において措置すること。

【 現状と課題 】

病院勤務医の不足

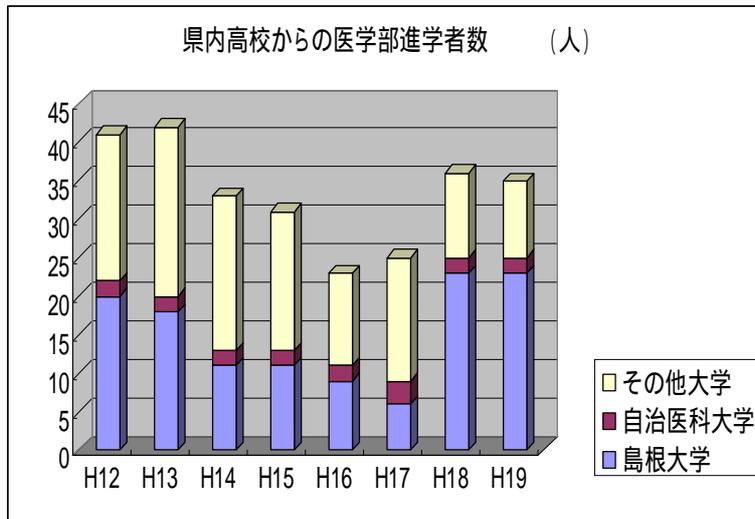
離島・中山間地の公的病院を中心に医師確保が困難になっており、へき地医療、救急医療などを担う病院勤務医の労働環境の改善などが喫緊の課題である。

島根県における医師不足の深刻な病院例（H15 H19 常勤医師数）



大学医学部への進学状況

県内からの医学部進学者はここ数年減少傾向にあったところ、島根大学地域枠推薦入学制度の導入後、増加に転じたが、将来にわたり安定的に医師を確保するためには、医学部進学者を増加させる必要がある。



年度	医学部進学者数		
	島根大学	自治医科大学	その他大学
H12	20	2	19
H13	18	2	22
H14	11	2	20
H15	11	2	18
H16	9	2	12
H17	6	3	16
H18	23	2	11
H19	23	2	10

平成19年度島根大学医学部の入学定員 85人、ほかに学士3年次編入枠 10人
(85人の内訳は、地域枠10人、一般推薦20人、前期・後期試験55人)

【 本県の取り組み状況・方針 】

赤ひげバンク、へき地医療奨学金貸与制度を創設するなど、医師の確保に本格的に取り組む(平成14年度～)。

初期臨床研修制度の義務化に対応し、島根大学や県内の臨床研修病院と連携し「研修医等定着特別対策事業」を実施する(平成17年度～)。

「医師確保対策室」を設置し、島根大学の地域枠推薦入学者のための奨学金の創設や指導医の育成、後期研修の支援、即戦力医師の確保などの医師確保対策事業を実施する(平成18年度～)。

奨学金貸与制度の拡充や女性医師の就業支援に着手する(平成19年度～)。

【 提案要望の効果 】

県民すべてが、いつでもどこでも安心して医療を受けられる社会の形成

URL : <http://www.pref.shimane.lg.jp/iryotaisaku/>